

# 研修員's VOICE

Vol. 40

世界各国からJICA沖縄にやって来た研修員を紹介しています。



出典：外務省HP



ロジメリさん(左)とマリオさん(右)

氏名: Mr. TAVARES MONTEIRO Jose Mario (マリオさん)

Ms. FREITAS TEIXEIRA MONTEIRO Rosimeire

国名: ブラジル (ロジメリさん)

コース名: 日系研修「ユネスコ無形文化遺産登録に向けた  
沖縄伝統空手の普及継承」コース

研修期間: 2023年1月10日～2023年2月24日

## 世界に広がる沖縄発祥の空手

世界の空手愛好家は1億3千万人以上とも言われ、国や人種、宗教を超えて世界190カ国以上に普及しています。中南米最大の日系社会があるブラジルでも、柔術やカポエイラに加え、空手愛好家が多くいます。

国際沖縄剛柔流空手道連盟(IOGKF)のブラジル支部長で、本部道場の主任講師のマリオさんと講師のロジメリさんは、夫婦で空手の指導を行い、普及継承に取り組んでいます。また、地元サン・マテウス市の福祉事業の一環として、貧困や様々な問題を抱える青少年への空手指導を通して、青少年の健全育成や空手の裾野を広げる活動も行っています。



IOGKFブラジルの本部道場

## 研修に参加した目的は？

空手歴は25年(マリオさん)と8年(ロジメリさん)ですが、沖縄の伝統空手をさらに深く学び、正しく理解し、正しい伝統空手をブラジルで普及したいと今回の研修に参加しました。

昨年はコロナの影響でオンラインでの研修でしたが、今回の来日研修では直接先生方の指導を受けることで、より多くを学ぶことができました。

各研修先では他流派も含む素晴らしい先生方と一緒に稽古をし、交流する機会があり感激しました。また、沖縄の人々の温かさ、料理や伝統工芸などの文化を体験できたことは、空手の背景にある沖縄を理解する助けとなりました。



研修での稽古の様子

## 沖縄伝統空手の普及継承

研修中は主に那覇市にある東恩納道場で稽古に励んでいます。那覇市内だけでも様々な流派の道場がたくさんあり、沖縄空手の多様性を感じるとともに空手発祥の地を再認識しました。流派を超えて多くの空手家が集う沖縄空手会館は、空手を伝承していく素晴らしい施設です。

空手の稽古に終わりはない、という言葉通り、帰国後も、沖縄の伝統空手を深化させ追求し、普及継承していくとともに、ブラジルの日系社会やJICA事務所とも連携した活動を実施していきたいと思っています。



空手コースの研修員